

魚津市荒町
小浜印刷所

会議室は休館中も御利用を

であります。それよりも見逃せないことは水族館を通じて商店、旅館、交通機関との繋りに加えて、全国的に魚津を紹介し得たことは、今後すべての面で全国舞台へ進出する契機ともなつたことであります。

共皆様の御協力をお願い致します。

本月十四日、十五日は感謝デーで無料開放とし、十五日には午後一時より神式により放生会を行いました。

四月十二日
開館式



今度市並びに商工会議所共催で皆さん方の経営改善、金融の円滑化或は指導の基礎資料を得るため十一月十七日より三十日まで調査期間として、調査員がお訪ねしますから、その趣旨に賛

なお調査には魚津高校商業科の協力を仰ぐのであります。調査の成果は皆さんの心よい理解から生れるのです。茲に重ねて御協力をお願いします。

一、昭和三十九年度魚津市
場に対する補助
金四、〇〇〇、〇〇〇円

一、魚津市議会議員及び魚
津市教育委員会委員の期末
手当支給に關する条例の一

○簡易水道布設事業費
五、二九八、〇〇〇円

及び費用弁償の支給に関する条例設定の件

「貨物兼乗用車購入費に對する不足分」

一〇、六二三、二五〇円
 ○諸支出金(貸付金)
 員の報酬及び費用弁償の支
 給に関する条例設定の件
 「魚津市川原町十番地

八、五〇、〇〇〇円
富山産業大博覧会魚津会場
場給費資金一時貸付
一、昭和十九年度魚津市
国民健康保険直営診療施設
一、魚津市国民健康保険運
営協議会委員の報酬及び費
用弁償の支給に関する条例
設定の件
一、魚津市簡易水道条例設
右の者は人権擁護委員に
推薦する事に同意されま
した。

違反の場合は、罰金又は懲役に処せられる事になっていますが、各地に無免許で狩猟に出る者がある様で、関係筋から注意されています。魚津市からはこんな違反者も一人でも出さない様に、御互に戒めあつて貰いたいものです。

ト、日の出前、日没後、市街地、その他人家稠密の場所、衆人群集の場所、獲物が銃丸の達するヶ所に人畜、建物、汽車、電車、船などがある場合に、魚津市地内に棲息するきじ

は、市農林課又は猟友会お問い合わせ下さい。

商工水産課 移転

十一月四日から商工水産課は水族館の管理を兼ねるため、水族館に移転致しましたから

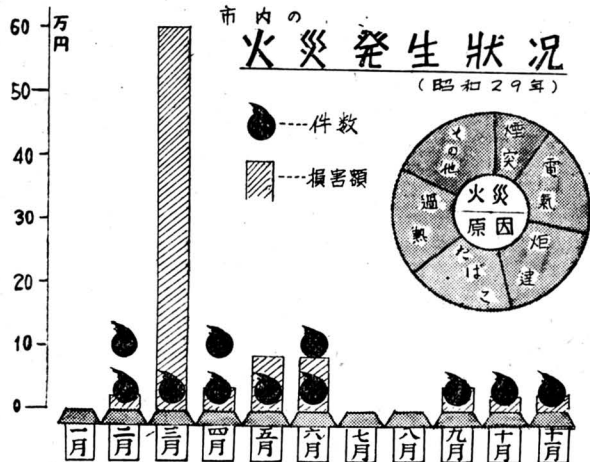
ハ、公道
ニ、農林大臣の指定する公園、其の他にこれに類した場所
ホ、社寺の境内
ヘ、墓地

来春一月十日頃から四十
五日間、乙二航の講習会を
開催する予定ですが、臨時
国家試験を引き続き実施する
予定であります。

受験資格は、受験当日に
於いて、年令満十九才九ヶ
月以上で、二十屯以上の漁
船に三ヶ年以上の甲板員と
しての乗船履歴を必要とし
ます。但し丙種航海士又は
これと同等の資格の免状の

自治体消防が発足してから第七回目の「秋の全国火災予防運動週間」は十一月二十六日から十二月二日まで実施されます。」

長の免状の受有者は半年以上。二十屯以上の漁船の船舶職員としての乗船履歴を有しなければなりませんから、今から乗船履歴を準備して下さい。

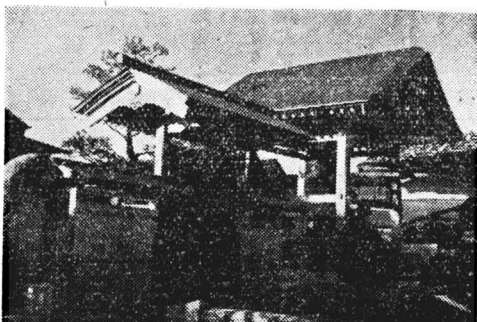


この地方で赤門の寺と言
えば、誰でも「あゝあの西
願寺か」と言われる程、赤
門は有名でありました。と
ころが昭和十八年十一月橋
場の大火に、この山門も御
堂もすつかり類焼してしま
いました。

この寺け郡金山西願寺と
いゝ鎮西派の浄土宗であり
ます。山門は田舎では稀な
朱塗で丁度奈良京都の寺院
を思い出させる珍らしいも
のでありました。山門の入
口の左側には「下馬」と大
書した制札が
建てられてあ

ます。
元禄十五年（一七〇二）年
五月今から二百五十二年
魚津に大火がありまして、
六〇三戸も類焼しました。
この時七堂伽藍の本寺も
ことごとく灰燼に帰してし
まいました。

其の後寛延三年（一七五〇）
○当時第十六世の住職
菅上人が本堂を再建して
ら二百年余り経つて今日
でになりましたが、昭和十
八年十一月、橋場の一角
から火を発した火災は、遂



赤門の西願寺

ある榮海上人の創建と伝えられていました。文龜二年（一五〇二）後柏原院の御腦平癒と宝鮮延長を祈念する為め、北國路の鬼門に當る所になつてこの地が適地と定められ、勅願所とせられました。そして山門には「勅願所西願寺」と書いた板額が掛けられました。

文祿四年（一五九五）今から三百五十五年前茅當時第四世の住職門蒼上人が、万里小路大納言に御奏願の取次を願つて後陽成天皇の御宸筆を戴き赤門の勅許を得たので、爾來赤門を建て、十萬石の格式を授けられたので諸候などの参詣には下馬させられたものだそうでありませう。これが赤門の寺と称せられるゆえんであります。

二六二戸を焼失する大火となり、この寺の本堂も僅留なり、この寺の鐘樓も、ことごとく全焼してしまひました。そして鐘樓台には大釣鐘だけが、そのまゝ下に落ちて残り、この鐘も供出しましたが、由緒の深い鐘と言うので出征が停止され戦後再び寺にもどつてきました。

今新しく建てられた鐘樓台から、朝な夕な平和な鐘の郷土に、静かにこの古鐘の音が響き渡つています。

この鐘には菊花御紋章上六字の名号を彫られてあつて製作者の銘もなければ、寄進者の名もないので、たゞ寺の開山の際に作られたものであらうと住職が断つておられます。

